

圓頓寺 たより

発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

第三十四世

順境院日攝

合掌。新年あけましておめでとうございます。檀信徒の皆様方におかれましては、旧年中、護持護法、また菩提寺の隆盛にご尽力を賜り、誠にありがとうございます



11月1日「上棟式」

います。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

当山からのご報告になります。昨年の正月の初講法要より配布いたしました趣意書にもとづいて、いよいよ本堂大改修の工事が始まりました。当工事は、江戸後期に建立され、一般の地震により半壊しました本堂の全面的な大改修になります。付属する山門と鐘楼堂、併せて仏具の修復も含まれています。また、来たる日蓮大聖人の御降誕八百年、ならびに当山の開創四百年への慶讃報恩の意を表す大切な一大事業に当たります。幸いにしまして、趣意書



上棟式会場に飾られた棟札

の発布よりこのかた、この大義をよくご理解いただき、多くの檀信徒の皆様方から多大なる御寄進を頂戴しております。住職として厚く御礼申し上げます。

ここで、昨年中の工事の進捗状況をご報告いたします。(注：前号の「三、十八、十九ページ」の写真を参照下さい)

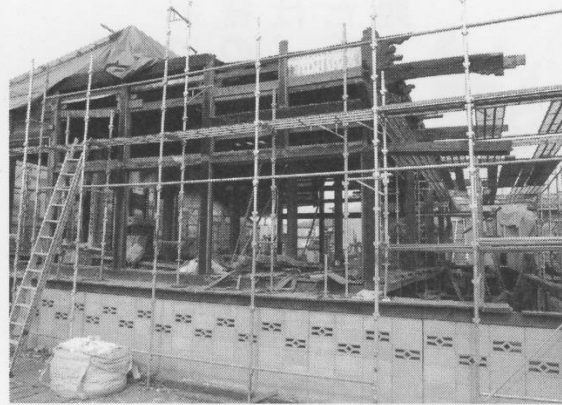
三月末に、松下仏壇店な

らびに檀信徒の有志の方々により、御本尊を始め、日蓮大聖人・諸菩薩・諸天善神の御尊像を、檀信徒会館の大広間へ移動いたしました。御本尊の遷座されました檀信徒会館の大広間が、工事期間中の仮本堂となっています。現在も諸行事と諸法要は万事、この仮本堂にて執行しております。

四月には、役員および世話人の皆様と共に、起工式の祈願法要を執り行いました。

五月中旬になりました、現場での実質的な工事着工となりました。傷んだ屋根瓦を撤去し、天井の小屋根の解体。大きな梁でさえ、長年の雨漏りやシロアリの被害により、想像以上に無残な状態となっております。私の素人の目から見て

も、倒壊せずによく今までもちこたえていた、というのが率直な感想でした。よ
りまして、天井の小屋組みは総替えになります。土壁も全て取り除き、柱だけの状態になりました。



6月20日の状態です

工事は進み、湿気、雨、排水対策として、本堂周囲から山門石段下への地下側溝の設置。本堂床下の強固な礎改良工事。既存の柱の歪みの傾斜復元。

これらの工事を経まして、本堂は、柱と梁を残しただけの状態になりました。天井は一部仮屋根、大半は養生のシートに覆われただけの脆弱な状況で、梅雨と台風の時期を迎えることになりました。幾たびか心配する状況もありましたが、仏祖三宝の御守護により大過なくやり過ごせました。

宮棟梁と宮大工の建て方が本格的に始まると、日ごと木槌の心地よい音と共に少しずつ形が整ってきてお
ります。

そうして迎えました去る十一月一日の吉祥の日、大きな節目であります上棟式を厳修することが出来ました。当日は絶好の秋晴れに恵まれ、屋根より天高くすえられた大きな真竹に五色の吹き流しが厳かにたなび



木剣を振る住職、院首と見守る参加者

くなか、工事関係者ならびに役員世話人各位のご参集のもと、古式にのっとり本堂前にて祈願法要を奉行いたしました。無事の完成、大願成就を祈り、本堂の四隅から宮大工による餅投げと、正面より住職、総代、役員、宮大工らにより餅まきを行いました。

法要後、仮本堂にて祝宴を行い、盛況のうちに滞り

印刷社文盛 有限会社

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA  SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990

〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

なく上棟式を終えることが出来ました。

師走下旬からは、並行して瓦工事が始まりました。これからは、お参りのたびに本堂の葺はそびえ、日々改まります。完成の暁には、山鹿でも屈指の威容を誇る歴史ある本堂として再建されます。

完成の予定は、本年六月中を期しております。落慶の際は、改めてご案内申し上げます。

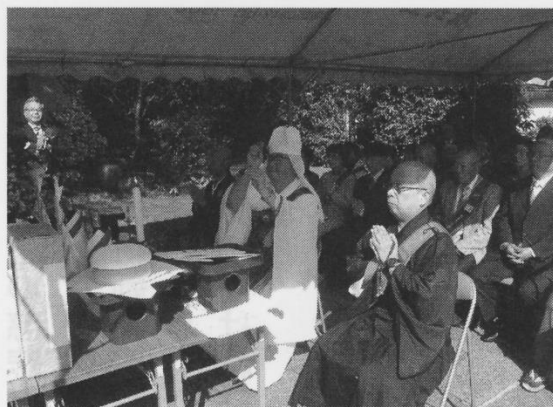
最後になります。このたびの慶讃報恩の意趣をご理解いただき、大事業への引き続きのご協力をお願いしまして、住職としての新年のご挨拶に変えさせていただきます。

(上棟式は、七十一ページをご参照ください。写真は(株)玄匠提供)

法華経と御遺文の学習

「甘露を以て灑ぐに、熱を除いて清涼を得るが如し。飢えたる国より来て、忽ちに大王の膳に遇わん。」

『妙法蓮華経授記品第六』
今号では、『妙法蓮華経授記品第六』の章段中の経文を学習していきます。



上棟式「切火で清める住職」

経題の「授記」とは、仏さまからいただく成仏の確約の意味であります。法華経では、菩薩行を実践するものに「授記」が与えられます。経文の意味は次のようになります。

小乗(＝法華経以前の仏説)という、自分だけが修行して立派になればよいという小乗の教えに満足していた私たちにとって、法華経という大乘の教えに出会うことが出来たということは、渴者にそそがれた甘露による清涼、飢者に差し出された大王の膳のようなものであります。

仏さまより法華経を与えていただいた弟子の感激の述懐です。



拝む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL (092)271-0456 ・ FAX (092)271-0464

工場

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL (092)806-7499 ・ FAX (092)807-1079

このように、私たちも法華經にご縁があるというこ
とに深く感謝し、大きな感
動を感じなければならな
いのです。

「皆当に授記すべし。未
来世に於て咸く成仏する
ことを得ん。我及び汝等
が宿世の因縁、吾今当に
説くべし。汝等善く聴け。」
『妙法蓮華經授記品第六』

また、仏さまはこのよう
にお説きになられます。
あなたたちの全てが、仏
になれます。菩薩行。つま
り、人々を救うための努力
の積み重ねこそが、法華經
が説く成仏の条件でありま
す。だからこそ、よく仏の
話を聞きなさい。
私たちは、仏さまより成
仏への確約を頂戴しており

ます。故に、この慈悲と大
恩を無駄にしないためにも、
日々の菩薩行に励み、經文
にのっとり精進をもつて生
活をなしていかなければな
らないのです。

「正月の一日はひのはじ
め、月の始め、としのは
じめ、春の始め。」

これをもてなす人は月の
西より東をさしてみつる
がごとく、日の東より西
へわたりてあきらかなる
がごとく。とく（徳）も
まさり人にもあいせられ
候ふなり。』

『重須殿女房御返事』
引き続き、日蓮大聖人の
御遺文を学んでいきます。
この文章は、正月五日付
での重須殿女房へのお手紙

に出てまいります。大意は
以下のようになります。

正月の元日は、日の始め、
月の始め、年の始め、春の
始めです。この日を大切に
する人は、例えば、月が西
から東をさして、みちてい
くように、日が東から西に
渡って照らすように、内
には人徳を積み、外には人か
ら敬愛されるのです。

まさに、正月を迎える心
のあり方をお示しになって
おられます。

一年の始まりであります
元旦。この新春の尊い靈氣
を大切にすることを保てば、
自身の徳もまさり人々から
敬い愛されることになり、
必ずや良き一年になるので
あります。初心が大切な
です。皆様方のご多幸を御
祈念申し上げます。



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司



中町店 ☎ 44-0055

仕出部 ☎ 44-5804

新年のご挨拶

ご支援ご苦勞に感謝

護持会会長 栗原辰也



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

檀信徒の皆様方には、ご家族お揃いで良き新年をお迎えのことと存じます。旧年中は菩提寺興隆にご支援ご芳志賜りまして、誠にありがとうございます。衷心より感謝を申し上げます。また、年間の

六大法要を始め、各種の行事等に護持会会員として、当番として、準備から料理、後片付けと快く賄われ、ご奉仕いただき、そのご苦勞に心より感謝を致しております。さらに、お盆前、正月前の合同大掃除、注連縄作りにご苦勞いただき、境内等も立派に整い、これもお奉仕のおかげです。感謝を申し上げます。今年も護持会の皆様方には大変お世話になります。よろしくお願い致します。

昨年度は、護持会総会において、長年の懸案でありました本堂大改修、併せて山門、鐘楼堂改修も満場一

致の承認を賜りまして、四月十二日起工式、工事安全祈願祭を行い、仮本堂設置、解体工事、基礎工事も順調に進み、十一月一日上棟式を行い、工事も進展致しているところ。願わくば、本堂大改修、山門、鐘楼堂改修共々、無事故無事、改修工事が完成完了出来まことを願望致す次第です。



四隅餅投げを待つ鬼木顧問ら

檀信徒の皆様方には、本堂、山門、鐘楼堂改修の「ご

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675

熊本店

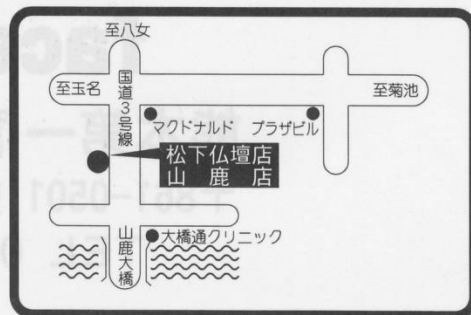
熊本市中央区上水前寺1-12
-12 (東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665



株式会社 松下仏壇店

新年を迎えて

護持会会計 原文雄



寄進」のお願いを申し上げているところでございます。何卒ご理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。本年は例年のない寒さ厳

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。護持会会員の皆様、お揃いで健やかな新年をお迎えのことと思ひます。昨年中は、護持会会計へ

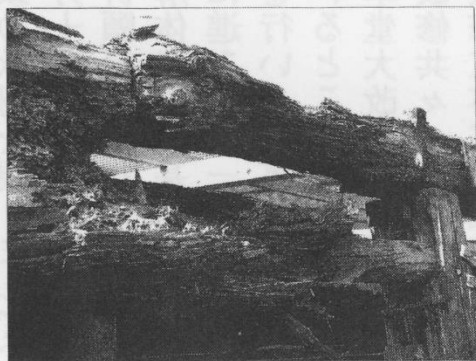
しい季節の到来とお聞き致します。健康に十分留意されまして、お元気で暮らしていただきませう、ご祈念申し上げます。合掌

のご協力を始め、六大法要や新年祝禱会、寒修行、護持会総会、合同大掃除、除夜の鐘などの諸行事。そして雨漏りがひどく、地震によって傾きがひどくなり、半壊の判定を受け始まった本堂大改修。と大変お世話になりました。本年もどうぞよろしく願ひいたします。昨年は、猛暑や地域によっては台風被害、豪雨災害による壊滅的な被害がありました。山鹿地方は災害等

も少なく過ごせたのではないかと思います。ただ、後半では総選挙もあり、何かとあわただしい一年でもあったようです。暮れには日馬富士が暴行問題で引退という事態となり、残念でなりません。

皆様のご協力によりまして、本堂の大改修を一年ぶりになることになりました。解体して驚いたのはシロアリに食害された、大きな柱を見たときでした。

解体時 本堂白蟻被害状況



白蟻被害 丸桁・貫 (南西隅部)

シロアリ被害(写真：池田一郎設計士)

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

三月に檀信徒会館に仮本堂設置。四月十二日起工式・安全祈願祭。四月工事開始。五月瓦撤去。十一月一日に上棟式が行われ、本年六月頃に落慶式を迎える予定で工事が進んでいます。

本年は、マスコミ等で報じられています天皇陛下の退位関連（平成三十一年四月三十日退位）、眞子様納采の儀（結納）、結婚式と喜ばしいことだと思えます。

私も昨年七月、民生委員創設一〇〇周年記念式典が東京ビックサイトで行われ、そこに参加し、天皇陛下にお会いしてきました。

本年も、出費が何かと多い中ですが、なにとぞ護持会会費を納入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

南無妙法蓮華經

古式にのっとり
上棟式厳修

上棟式が執り行われた十一月一日は、日蓮宗御詳暦によりますと「婁」で、「願望成就する大吉日なり（略）家屋を造作すれば福を招き（略）総て祝事には上々吉日なり。」とあり、天気も晴れ渡り、まさに上棟式にふさわしい日でした。



田中総代の司会で進行

住職、院首上人、総代、顧問、各役員、世話人、寺族、工事関係者一同が本堂前のテント席に着き、田中栄一総代（事務局担当）の司会で上棟式が進行されました。住職英人上人の切火、焼香、お題目三唱で始まり、勸請に続いて、英人上人、院首英知上人、松尾英勝上人により、開経偈、方便品、自我偈と読経、木剣が振られ修法が続き、参列者全員による合掌・唱題の中、院首英知上人の木剣・読経のあと、松尾英勝上人、池田一郎設計士、（株）玄匠・高橋健二社長が、清められた酒、洗米、塩により本堂外周の四方を

セシモニーホール

山鹿
天龍会館

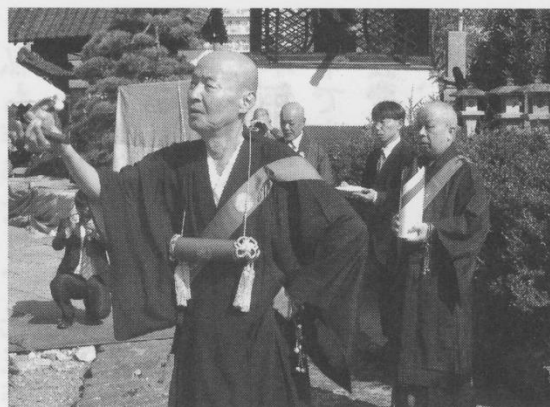
宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211
フリーダイヤル 0120-45-0948

TEL (0968) 44-0444

総代が所用で東北に出張中のため、原文雄総代(副会長)が、「お忙しい中、上棟式にご参加いただきありがとうございます。昨年の大地震で本堂は半壊の診断を受け

清める修法が、厳修されました。さらに圓頓章に続いて、上棟式祈願文を英人上人がおそかに奏上し、奉送と続きました。

原総代が挨拶



院首上人、松尾上人らによる四方清め

ました。建設準備委員会、建設委員会で何回も会議を持ち、話し合いました。改修をしなければいけないと意見が出て、臨時総会、総会の決議を経て、檀信徒の皆様は大変お世話になりました。大改修が進んでいるわけです。四月から工事が始まりまして、解体されて一番驚いたのはシロアリの被害です。良く本堂が立っていたものです。大きな柱がボコ



祈願文を奏上する住職

ボコに朽ちはてていました。檀信徒会館(仮本堂)にシロアリ被害の写真がありますので、まだの人は是非見てください。今日上棟式を迎えるにあたり、設計監理の池田先生、工事に当たる玄匠さんにお世話になりました。改修が続く、来年五月か六月に落慶になると思います。その間、お寺にいられた時は、工事の進み具合をしっかりと見ていただきまして、どういう出来上がりになるか、完工後を楽しみにして下さい。今回の大改修により二〇〇年は持つそうで、次の改修は、曾孫の曾孫になると思います。今後ともお世話になります。」と挨拶しました。

住職謝辞

次いで住職が、「本日は秋晴れの佳き日に、当山の



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します

住宅金融公庫其他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

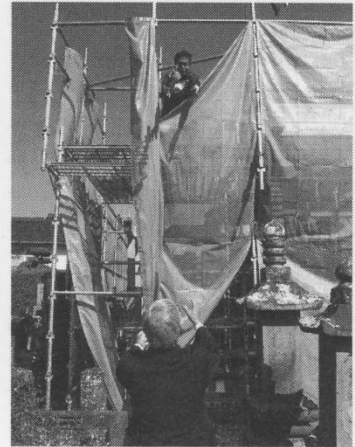
山鹿市上広町344の7

☎43-2664

藤本 俊 範

本堂大改修の上棟式を滞りなく奉行することに相成りました。ご多用中にもかかわらず多くの皆様方に御参列をいただき、誠にありがとうございます。この良日を迎えましたことは仏祖三宝はもとより、関係各位の皆様方のおかげでもございます。殊にご出席を賜りました設計監理の池田一郎先生、並びに株式会社玄匠の社長、専務、棟梁、宮大工様の確かな技術の賜ものでございます。厚く御礼申し上げます。また、ご寄進をご志納いただきました檀信徒の皆様、多大なご信心のおかげでございます。これから師走には屋根瓦ものりまして、来年三月には本堂建物の引渡しになります。その間に、山門と鐘楼堂の改修も併せて行います。そ

餅を受け取る阿蘇品顧問として、本日専務ご出席の松下仏壇店より、本堂の彩色、補修、仏具工事の施工を経て、来年の五月もしくは六月に落慶式の予定です。日蓮大聖人のお言葉に「異体同心なれば万事を成す」とあります。お題目の同じき心を合わせれば、万事を成就することが可能であります。私も皆様方と共にお題目の同じき心を以て更なる精進をしてまいらる覚悟です。これからも引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。また、無事の完成をご祈念



餅を受け取る阿蘇品顧問

申し上げまして、卒爾、簡略ではございますが住職の謝辞に変えさせていただきます。改めまして、上棟式にご出席賜りまして誠にありがとうございます。と謝辞を述べました。「餅投げ、餅まき 次いで四隅餅投げの儀式に移り、住職の読経のもと、田中総代、鬼木顧問、阿蘇品顧問、池田一郎先生らが四隅につき、御幣が飾られた縁起物の餅が、宮大工の方により上から投げられ、役員さんらがしっかりと受け止められました。更に縁起物の餅まきがありました。住職、役員、宮大工さんら十名ほどが工事用のスロープを上り、綺麗に包装された紅白の餅と、同じく包装されたお菓子類も一緒にまかれ、参列の皆様競って拾

大小宴会・会食

横手会館

山鹿市九日町(八千代座前)

割烹よこて

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手仕出し

TEL. (0968) 43-2206

肥後銀行前 TEL. 43-7500

われていました。私も欲と二人連れで直接捕ったり、拾ったりしました。餅まきが終わって田中総代が、「皆様おとりになられたでしょうか。縁起ものですか。」と参列者に対して心を配っていました。



餅まきをする住職、役員、宮大工さんら

院首挨拶、清宴
上棟式の儀式が終わって、場所を檀信徒会館へ移し、清宴が行われました。まず

院首英知上人が、「本日の佳き日に上棟式を厳修出来ましたことを、人生の中一八〇年前の本堂が、百年、二百年後につながる建築をしていただく、その前の一番目の祝いが四月の起工式です。二番目のめでたい棟上げ式を行うことが出来ましたこと、皆様方のご支援の賜ものと思っております。特に、設計監理をしていただく池田先生、施工業者としての玄匠の社長、専務、現場監督、棟梁、宮大工の皆様お世話になっていきます。棟上げは天と地の融合です。大事な日です。天と地は法華経の教えの中に示されているように、地、水、火、風、空と、天と地が融合する人生の中で一番大切なところでございます。本日参集していただいた皆様方の心が、



挨拶する院首英知上人

一八〇年前の檀信徒の皆様方が心を合わせて建立された本堂を、未来に引き継いでいく大切な役割があり、心を受け継いでいく場面があります。そう思ったこの時に相会うことができたこと、本当に幸せだなと、これが未来に引き継がれていくんだなという思いで一杯でございます。総代の挨拶の中で、孫、曾孫の先に引

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀

代表取締役 阿蘇品 和彦

☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2

熊本日新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介
園長